



イチゴの害虫防除を徹底しましょう

～アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類～

病害虫発生予報12月号（病害虫防除所）によると、11月下旬の調査からアブラムシ類は多く、アザミウマ類はやや多く、ハダニ類は平年並～やや多いと予測しています。

また、フェロモントラップの調査結果から、オオタバコガの発生が平年より多くなると予測しています。早期発見に努め下記を参考に防除を徹底してください。



防除のポイント

- 1) 初発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、蕾および株元などを丁寧に観察し、発生を認めたら早期に薬剤防除を実施し、葉裏や下葉、株元等にも薬液がよくかかるよう丁寧に散布することが特に重要です。
- 2) ミツバチや天敵を使用する場合は、薬剤の影響についてメーカーや関係機関の指導を受けるなど注意してください。
- 3) 連続して薬剤を使用すると、抵抗性の出現しやすい傾向がありますので、分類の異なる薬剤でローテーション散布してください。

表1 イチゴ アブラムシ類、アザミウマ類の主な防除薬剤 (令和5年12月12日現在)

薬剤名	アブラムシ類	アザミウマ類	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
ウララDF	○		2,000～4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	○	29
グレースシア乳剤		○	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	30
ディアナSC		○	2,500～5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	3日	5
トランスフォームフロアブル	○		2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	10日	4C
ファインセーブフロアブル		○	1,000～2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	34
ベストガード水溶剤	○		2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	6日	4A
ベネビアOD	○	○	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	28
マッチ乳剤		○	1,000～2,000倍	収穫前日まで / 4回以内	1日	15
モスピラン顆粒水溶剤	○		2,000～4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	4A
		○	2,000倍			
モベントフロアブル	○	○	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	23

注1) 各表のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針（令和5年版）及び農業メーカー資料より抜粋しました。○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件により日数が前後することがあり、注意が必要です。
注2) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤 (令和5年12月12日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	収穫前日まで / 1回	○	20B
グレースシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	30
コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	10日	13
コロマイト水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	6
スターマイトフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	25A
マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	20D
粘着くん液剤	100倍	収穫前日まで / -	1日	-

表3 イチゴ オオタバコガの主な防除薬剤 (令和5年12月12日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
アフーム乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	2日	6
グレースシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	30
トルネードエースDF	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	22A
ファルコンフロアブル	4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	18
フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	28
プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 4回以内	1日	UN

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。